

研究開発部門リーダーのための 新規事業立ち上げの留意点と 成功のポイント

●日 時 平成28年1月27日(水) 13:30～16:30

●会 場 [東京・五反田]技術情報協会 セミナールーム

●聴講料 1名につき50,000円(消費税抜き・資料付き) [1社2名以上同時申込の場合1名につき45,000円(税抜)]

[大学、公的機関、医療機関の方には割引制度(アカデミック価格)があります。詳しくはお問い合わせください]

●講 師: (株)ティーシーコンサルティング 代表取締役社長 富田 賢 氏

【略歴】慶應義塾大学卒業、京都大学大学院経済学研究科修了。米国系投資銀行を経て、独立系ベンチャーキャピタルの立ち上げに参画し、多くのベンチャーに投資し、上場へと導く。VC会社自体も2年半で上場達成。2003年大阪市立大学大学院創造都市研究科・専任講師(ベンチャーファイナンス論、事業計画書作成指導)。米国ペンシルバニア大学、上海交通大学にて在外研究。住友信託銀行・専門職を経て、2008年から現職。アライアンスによる新規事業立ち上げを中心として、約7年で160社以上の豊富なコンサルティング実績。年間70回以上の外部講演も行う。著書が『新規事業立ち上げの教科書～ビジネスリーダーが身につけるべき最強スキル』が累計1万部となる他、『世界のエリートが教えるちよつとした仕事の心がけ』、『これから10年活躍するための新規開拓営業の教科書』など。慶應義塾大学SFC研究所・上席所員としてIoTや人工知能にも取り組んでいる。

『研究開発リーダー』2015年12月号に掲載された富田賢氏の寄稿の内容を中心に、研究開発部門の方が新規事業立ち上げを成功させるために留意すべきポイントについて、同氏の約7年で160社以上のコンサルティング経験を踏まえて、解説いたします。

講師のベストセラー著書『新規事業立ち上げの教科書～ビジネスリーダーが身につけるべき最強スキル』をテキストとして、その内容を研究開発部門の方向けにアレンジした内容となります。

1. 成功確率を高めるための新規事業のアイデア発想

- ・新規事業に向けた発想の仕方(成功確率を上げるための顧客ニーズ起点とは?)
- ・新規事業担当者が陥りやすい発想のワナ(“新規”という言葉に惑わされない)
- ・ドロッカーが示した新規事業を考える際の3つの視点(“強み”の生かし方)
- ・顧客(ユーザー)が製品を購入する際の3つのポイントの組み合わせ
- ・需供ギャップからのビジネス・チャンスの見つけ方(サブ・マーケットはないか)
- ・新規事業立ち上げにおける3つのイノベーション(技術、そして、もう2つ)
- ・【ワーク1】質疑応答とディスカッション

2. “ムダのない”新規事業立ち上げの進め方とアライアンスの重要性

- ・「リーン・スタートアップ」の大切さ(開発した後“売れない”を回避する!)
- ・アライアンスをいかに活用するか(“組み合わせる”、“補完する”)
- ・「オープン・イノベーション」の取り入れ方(NIH症候群からの脱却)
- ・【ワーク2】どんなアライアンスがあるかを考えてみよう!

3. IoT (Internet of Things) にどう対応するか

- ・IoT (Internet of Things) ブームをどう収益に結び付けるか

・自己投資型vs収益事業型(誰がお金を払うかが問題!)

・IoTによる製品のサービス化と異なる収益源の獲得

・【ワーク3】自社でIoT化させることができることはないか?

4. 新規事業チームの構築とそのポイント

・新規事業チームの作り方とワークのさせ方

(技術系の人材だけだと難しい!?)

・“人材アライアンス”を考える!(自社で賄える範囲と賄えない範囲)

・チームの適正人数は何人か?

(Amazonペゾス氏とEvernote リビン氏に学ぶ)

5. 新規事業につなげるための情報収集法

・決め手となる新聞メディアの情報収集のポイントと整理の仕方


・アウトプットの大切さとネット検索だけの危険性

★時間内で、実際に体感できるワーク(個人もしくはグループ)を盛り込む予定です。時間に限りはありますが、できる限り、インタラクティブな運営を目指します。

「新規事業立ち上げ」セミナー申込書

No.601508

1/27

会社名	事業所・事業部		申込書に必要事項をご記入の上FAXにてお申込みください。 ホームページからも申込できます。 http://www.gijutu.co.jp/ 申込書が届き次第、請求書・聴講券・会場案内図をお送りいたします。 受講料は返金致しませんので、ご都合の悪い場合は代理の方がご出席ください。
住所	〒		
TEL	FAX		ご記入いただいた個人情報は、セミナーの受付・運営や、今後のご案内のために利用いたします(セミナー講師へもお知らせいたします)。個人情報詳しい取り扱いにつきましては、宛名の用紙、又は
	所属部課	氏名(フリガナ)	
受講者1			 技術情報協会 TECHNICAL INFORMATION INSTITUTE CO.,LTD. 申込専用FAX 03-5436-5080
受講者2			
今後ご希望しない案内方法に×印をしてください(現在案内が届いている方も再度ご指示ください)			
〔 郵送(宅配便)・FAX・e-mail 〕			